



大阪府連通信
2019年5月号

日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: info@
jcfaosaka.org
http://
jcfaosaka.org/

会員倍加で府下5番目の城北支部を結成

第2回理事会 役員会で楽しい行事を企画

5月12日国労会館で第2回理事会も毎月発行している」(西支部)が20名の参加で行われ、石井勉議長に選出、渡辺武会長の挨拶、松尾豊理事長が議案提案、近藤好

「平和展で寺が池などの展示を... 対話になった、共同の広がり... 来年は長谷川テルの展示を、公開講座や行事参加者から入会があった」(堺支部)「昨年5月から懇親会や行事を重ねて、会員を倍加して、府下5番目の支部を2月に結成」(城北支部)「小林徳子さん90歳のお祝いの会では大きなパワーをもらった。中国茶の会や学習会など楽しい企画が定着してきた」(女性部)「結成7年多くの疑問に答えながら運営している、帰国者との交流会には中国領事館の紹介で豊岡から参加者がありびっくりしている」(東大阪支部)

「4原則から5原則へ支部活動を前進させている、行事は毎月・役員会は定期的に行い支部ニュース



文化講座シリーズ第1回は下定雅弘岡山大名誉教授を迎え、29日「漢詩・漢文に親しむ」講演会を行いました。講演会を成功させようとして訴えがありました。

中国が世界の中心になる時代を迎え、中国への関心に応える活動を広げ、会員を拡大し、12月と3月の百科検定を積極的に取り組むことになりました。

戦争展 堺支部は毒ガス問題を展示

戦争責任問題などに取り組む複数の市民団体でつくる実行委員会が主催する「アジアから問われる日本の戦争展」が4月29、30日に阿倍野市民学習センターで開かれました。サブイベントとして29日午後、アジア民衆歴史センターの久保規夫さんが「日清・日露戦争と韓国『併合』百周年、3・1抗日独立闘争」の講演をされました。講演では朝鮮の植民地支配の実態を、明治から昭和にかけて膨大な資料を基に、絵で見るプロジェクター映写で2時間にわたりテーマごとに詳しく解説されました。

堺支部は中国での毒ガス大規模使用について、日本軍の毒ガス戦略問題の概略を展示。西支部・平澤京子さんの感想は「昨年西支部主催の日清戦争... 戦争責任問題などに取り組む複数の市民団体でつくる実行委員会が主催する「アジアから問われる日本の戦争展」が4月29、30日に阿倍野市民学習センターで開かれました。サブイベントとして29日午後、アジア民衆歴史センターの久保規夫さんが「日清・日露戦争と韓国『併合』百周年、3・1抗日独立闘争」の講演をされました。講演では朝鮮の植民地支配の実態を、明治から昭和にかけて膨大な資料を基に、絵で見るプロジェクター映写で2時間にわたりテーマごとに詳しく解説されました。

撫順市代表団と懇談交流

した。中国共産党撫順市委員会書記の来鶴氏

来阪した撫順市代表団と4月21日夕刻より懇談しました。東京の「再生の大地合唱団」の姫田光義団長(中央大学名誉教授)から山本副会長に撫順市代表団が来阪するので、その際懇談の大地合唱団の橋本聡さんが流してほしいとの要請があり実現したものです。あいにく会長都合がつかず、山本副会長、松尾理事長で対応しました。関空には山本副会長が出迎えます。

程永華中国大使が交代

程永華・駐日中国大使は期間が歴代最長の9年、日中関係は尖閣諸島をめぐる問題などで冷え込んだ時期に在任、5月に交代。後任は知日派の孔鉉佑外務次官が内定しています。



第65回大阪府連大会を告示します
大阪府連会長 渡辺武

6月23日(日) 13:30
国労会館 議案書は6/5号付録
仲間増やしや不再戦平和、文化活動、全国大会目標達成などについて討議・交流します。

府連文化講座シリーズ第1回講演会
漢詩、漢文に親しもう
— 元号「令和」にもふれて —

5月29日(水) 14時から
国労大阪会館 第2小会議室
参加費 1000円 (会員は無料)
講師: 下定雅弘 岡山大学名誉教授

この3年で大きく変化した暮らし

中国最新報告② 福建省廈門と福州を訪ねて

廈門から福州を訪問するチャンスが訪れた。教え子結婚式招待があり、合わせて空海祈念堂・開元寺訪問を訪問することにした。

サービスは確実に向上

2018年5月26日、卢银花さん(関西大学卒業生)の結婚披露宴に参加するため関空へ。福建省廈門と漳州と福州への一人旅。今回は3年ぶりの訪中。少し緊張を覚える。この訪問で、中国の文化と最新状況を知りたいと思った。

みな手にスマホ

関空の厦門行きゲートは人で溢れていた。団体客は200人程度、個人客は70人程度が並んでいる。そのほとんどが中国の若者。子ども連れも数組見かける。30分程度並び、スーツケースを預け・航空券の発行。その後、手荷物検査・出国審査で30分。計1時間かかる。

飛行機は厦門航空のMF840便。機内は、驚いたことに満席である。8〜9年前は、大半が日本人で座席も空いていた。隔世の感がある。見ると、乗客はみなスマホ(智能手机zhì nǎng shǒu jī)をのぞき込んでいた。

関空を19時20分定刻に離陸。客室乗務員の仕事ぶりやサービス、中国人乗客のマナーは確実に向上していた。

厳しくなった入国審査

厦門空港は10回程度利用しているが、空港のセキュリティは、一段に厳しくなっていた。驚いたのは、入国審査である。以前は黄色の入国カード(外国人入出境カード)を提出して、本人確認とパスポートチェックのみで簡単だった。今回は、カードチェックも厳しい。指紋も取る。まず、左手4本、次に右手4本の指紋を撮影。最後に両手の親指の指紋を取る。これは、厳しい！

スーツケースや手荷物などすべての荷物は、入国の際も手荷物検査台を通しチェックを受けなければならない。



不再戦・平和講演会
「日本は中国で何をしたか」
 講師：笠原十九司
 都留文科大学名誉教授
 8月25日(日)
 14:00~16:30
 エルおおさか南館

堺支部 赤レンガ倉庫や日中友好の碑へ

青空と静かな海を臨む安藤忠雄さん設計のおしゃれなテラス、ゴム・雑貨類)を赤レンガ倉庫クラシックカーやウェディングドレスのカップルがよく似合う赤レンガ倉庫、港区のパンフレットにはレトロをウリにした「宝島」築港の魅力が書かれています。確かにとてもすてきな景色を楽しみました。



それと同時に築港には負の歴史があることも「歴史の生き証人」藤後さんから教えていただきました。日中戦争が始まると、築港の岸壁から何百万人もの兵士が出征したこと。地場産業も兵器製造に変わり「陸軍糧秣支廠」では家畜を処理して軍の食糧として船積みしたこと。連行された中

「歴史の生き証人」藤後さんから教えていただきました。日中戦争が始まると、築港の岸壁から何百万人もの兵士が出征したこと。地場産業も兵器製造に変わり「陸軍糧秣支廠」では家畜を処理して軍の食糧として船積みしたこと。連行された中

長谷川テル顕彰の会

4月12日「大阪・長谷川テル顕彰の会拡大世話人会議」が開催され20人が参加しました。治維法賠償要求同盟府本部会長の有川功共同代表が「テル顕彰でさらに大きな共同、団結をつくっていきましょう」と開会あいさつ。結成総会以降の経過報告のあと、世話人会企画として、「長谷川テル」(せせらぎ出版)の編著代表である故澤田和子さんの子息の澤田和也さんが「長谷川テルの発掘と紹介に後半生



を捧げた 母 澤田和子(和子)を語り」と題して写真、資料で報告。生前、『長谷川テル記念館』設立構想を語っていたとも報告され、澤田さんのテルに対する並々ならぬ情熱が伝わりました。会財政、会員数報告に続いて、寺島俊徳関西大学教授提供の「長谷川テル資料、安偶生とテルとのつながり」が紹介されました。今後の「会」活動提案。休憩後、奈良顕彰

西支部 最勝寺訪問

4月30日西区・最勝寺を7名が訪問、佐野彰義住職から仏教やお寺の説明を受けました。最勝寺は浄土真宗・東本願寺派で、500年の歴史があり、佐野彰義住職は19代目になります。

仏教は3000年の歴史があり、80数派あり「平和主義・争わない」宗教で、インドから小乗仏教はガンジス川の南へ、大乘仏教はガンジス川の北からヒマラヤ山脈を越え、中国を経由して、朝鮮半島から日本へ伝わってきました。平安時代に法然上人が浄土宗を、親鸞上人が浄土真宗を広めました。



の会活動、伊田助男顕彰グループの報告、関西エスプレント連盟からは6月の関西エスプレント大会紹介、治安維持法犠牲者名簿作成事業進捗報告。他の参加者からも顕彰活動を前進させる思いが語られました。「ひろがり、重なり、深まる」会議になったこと、会員拡大を確認し、渡辺武共同代表(日中大阪府連会長)の閉会あいさつで終えました。(松尾豊)